

令和 7 年大井町議会第 2 回定例会

一般質問書

令和 7 年 6 月

通 告 順	質 問 事 項	質問者	(分) 時間	頁
1	・ジビエ等の利用について ・使用済み紙おむつ再生利用事業について	笠井裕太	5 0	1
2	・消防団の現状と課題について ・自主防災組織のあり方について	鈴木磯美	5 0	2
3	・町の商業の活性化対策について ・市場踏切の改修計画について ・地域医療における県立足柄上病院の役割について	鈴木武夫	4 5	3
4	・本町における自治活動への支援について ・盛土や土砂仮置き場における飛散・流出防止に向けた町の関わり方について	大石 舞	6 0	4
5	・おい中央公園の管理運営状況と民間活力の活用について	重田有紀	6 0	5
6	・観光振興による相和地域の活性化について ・夏季の暑さ対策について	岡田幸二	4 5	6

質問者	通告 1 番	通告時間 50 分
	1 番 笠井 裕太 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項	1 ジビエ等の利用について 2 使用済み紙おむつ再生利用事業について	
要 旨	1 イノシシやシカによる農作物への食害、採餌行動による畑の掘り起こしや畦畔の崩壊といった被害が発生しており、住宅地への出没も確認されていることから、人的被害の発生も懸念される。また全国的にも野生動物による被害が増加傾向にあることから、本町においても果樹や野菜などの被害が一層深刻化する恐れがある。このような状況を踏まえ、ジビエ等の利用について、以下の点について伺う。 (1) ジビエ料理について ア ジビエ料理の拡販戦略は。 イ ジビエ料理の安全性は。 ウ 安定供給の確立は。 (2) 野生鳥獣の食肉以外の活用は。 (3) 命の大切さを学ぶ機会の提供は。 2 2022年3月に本町は「気候非常事態宣言」を表明し、脱炭素社会の実現に向けた強い意志を示した。その取組の一環として、企業との協働による「使用済み紙おむつ再生利用事業」の導入が検討されている。これに関し、以下の点について伺う。 (1) 「使用済み紙おむつ再生利用事業導入検討調査」の結果と今後の取組は。 (2) 進捗状況の公表は。	

質問者	通告 2 番 1 0 番 鈴木 磯美 議員	通告時間 5 0 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 消防団の現状と課題について 2 自主防災組織のあり方について	
要 旨	1 近年、全国的に災害が激甚化し、想定を超える被害が発生している。「自分たちの町は自分たちで守る」との精神に基づき、町民のために活動されている消防団の皆様に敬意を表するとともに、その役割の重要性を感じるところである。しかし、地域のつながりの希薄化や少子高齢化により団員確保が困難となっている現在、更なる対策が必要と考え、以下のことを伺う。 (1) 消防団員の定数を見直す考えは。 (2) 各分団の団員確保の現状と今後の対策は。 (3) 消防団運営費交付金の支給基準を見直す考えは。 (4) 防災士の養成状況と活用状況は。 (5) 学生消防団活動認証制度の現状は。 2 大井町消防・防災対策推進協議会は昭和 5 6 年に設置以来、町の消防・防災行政の円滑な運営を図ってきているが、協議会を構成する自主防災組織のあり方について、以下のとおり伺う。 (1) 自主防災組織の現状と課題は。 (2) 自主防災活動推進費補助金を見直す考えは。	

質問者	通告 3 番 3 番 鈴木 武夫 議員	通告時間 4 5 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 町の商業の活性化対策について 2 市場踏切の改修計画について 3 地域医療における県立足柄上病院の役割について	
要 旨	1 町の商業を活性化するために次のことを聞く。 (1) 大井よさこいひょうたん祭は、町の商業の活性化にどのように貢献しているか。 (2) 大井町商工振興会プレミアム付すいっぴー商品券は、他市町と比べてプレミアム率が低いが、率を上げる考えはないか。 (3) 町の商業活性化のため、大井町電子地域通貨を発行する考えはあるか。 (4) 大井町地酒で乾杯推進協議会は、「100万人のクラシックライブ&酒造見学」を実施しているが、他にどのような事業を考えているか。 2 市場踏切は西側の道路は広くなったが、東側は狭く危険である。そこで次のことを聞く。 (1) 今年度の予算でどのような事業をするのか。 (2) 今後の改修計画と改修内容は。 3 町は、地域医療における県立足柄上病院の役割をどのように捉えているか。	

質問者	通告４番 ４番 大石 舞 議員	通告時間 ６０分
		答弁者 町 長
質問事項	１ 本町における自治活動への支援について ２ 盛土や土砂仮置き場における飛散・流出防止に向けた町の関わり方について	
要 旨	１ 地域における生活環境整備や防災・防犯対策、地域コミュニティづくりなど、自治活動を中心的に担う存在が自治会である。重要な役割を果たす一方で、全国的に加入率の減少や担い手不足などが課題である。大井町第６次総合計画においては自治活動の支援や自治会加入率の目標値などが定められており、今年度は前期基本計画の最終年度にあたる。そこで以下について伺う。 （１）前期基本計画の事業展開において自治活動の支援及び助成を挙げているが現状は。 （２）２０２５年度までの自治会加入率目標値の達成状況は。また今後の対応は。 （３）自治会借地料を公費負担するなど、助成事業の充実を図る考えは。 （４）自治会役員の負担軽減について、対策は。 （５）「プロボノ」の活用など、今後の自治会活動の支援策は。 ２ 本年５月の新聞報道において、法令上の届け出等をせず災害対策もしていない盛土が全国で２２０か所に上ると確認されている。通称「盛土規制法」により大井町は全域が県の管轄となり、本年３月議会にて土地の埋立て等の規制に関する条例が廃止された。そこで盛土と土砂仮置き場における飛散・流出防止に向けた、今後の町としての関わり方を伺う。	

質問者	通告 5 番 6 番 重田 有紀 議員	通告時間 6 0 分
		答弁者 町 長
質問事項	おおい中央公園の管理運営状況と民間活力の活用について	
要 旨	おおい中央公園がオープンしてから 3 年が経過した。 平時には誰もが気軽にふれあえる公園として親しまれ、有事の際には防災拠点としても重要な役割を果たすことが期待されている。休日には多くの人でにぎわい、町外から訪れる利用者も多く、町民に限らず親しまれる公園となっている。一方で、要望や課題も多く、無料休憩所、バスケットコート、かまどベンチ等、特徴的な設備を有しながらそのポテンシャルを活かしきれていないのではないかという声も聞こえてくる。大きな予算を投じ完成した立派な施設に見合うような住民サービスが提供できるよう、より良い公園になってほしいという町民の声を踏まえ、以下のとおり伺う。 (1) 利用者要望や利用時の課題を把握しているか、またその把握方法は。 (2) ルールづくりを町民と協働で行う考えは。 (3) 一般出店者によるイベント等開催の出店状況と使用料収入は。 (4) 管理運営に関する委託状況は。 (5) 指定管理等の民間活力を取り入れる考えは。	

質問者	通告 6 番 9 番 岡田 幸二 議員	通告時間 4 5 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 観光振興による相和地域の活性化について 2 夏季の暑さ対策について	
要 旨	1 今般、町道 5 0 1 号線の開通式が行われた。地域住民の移動の利便性向上や地域経済の活性化に寄与するとともに、災害時には地域住民の安全を確保する避難道路としての役割が期待されている。また、富士山を見渡す光景は絶景であり観光にも貢献できると考える。今後の展望も含め相和地域の活性化について伺う。 (1) 町道 5 0 1 号線沿いに富士山を見渡す見晴台建設の考えは。 (2) 里山花まつりの成果と課題は。 2 ここ数年酷暑の傾向は著しい。昨年の夏は特に外出もままならない状況であった。室内にいても熱中症が発生するなど、高齢者をはじめ身の危険を感じる事態が発生している。町としての対策が必要と考え以下について伺う。 (1) 民間施設の協力によるクールスポットの拡大の考えは。 (2) 高齢者等にエアコン設置費助成金を導入する考えは。	